

第59回横浜市都市美対策審議会景観審査部会 次 第

日 時 令和2年9月1日（火）午後1時30分から午後3時まで

会 場 横浜市役所18階共用会議室さくら15 ※WEB会議形式
（横浜市中区本町6丁目50番地の10）

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 山下公園通り地区地区計画区域内の建築物等の計画に対する意見について（審議）

(2) その他

3 閉 会

<資 料>

次第、参加者名簿、座席表、第58回議事録

【議事1】資料1-1 地区計画の区域内における行為の届出書

資料1-2 景観形成の考え方

資料1-3 事業者との主な調整事項と事業者提案に対する市の考え方

第59回横浜市都市美対策審議会景観審査部会 参加者名簿

開催日時 令和2年9月1日(火)午後1時30分から午後3時まで
開催場所 横浜市役所18階共用会議室さくら15 (WEB会議形式)

	氏名 (敬称略)	現職等
部会長	国吉 直行	横浜市立大学客員教授 (都市デザイン)
委員	加茂 紀和子	名古屋工業大学工学部社会工学科教授 (建築)
〃	小林 徹	公募市民委員
〃	野原 卓	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授 (都市計画)
〃	福岡 孝則	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授 (ランドスケープデザイン)
〃	矢澤 夏子	神奈川県弁護士会 弁護士
〃	山家 京子	神奈川大学工学部建築学科教授 (都市計画)

【議事1】

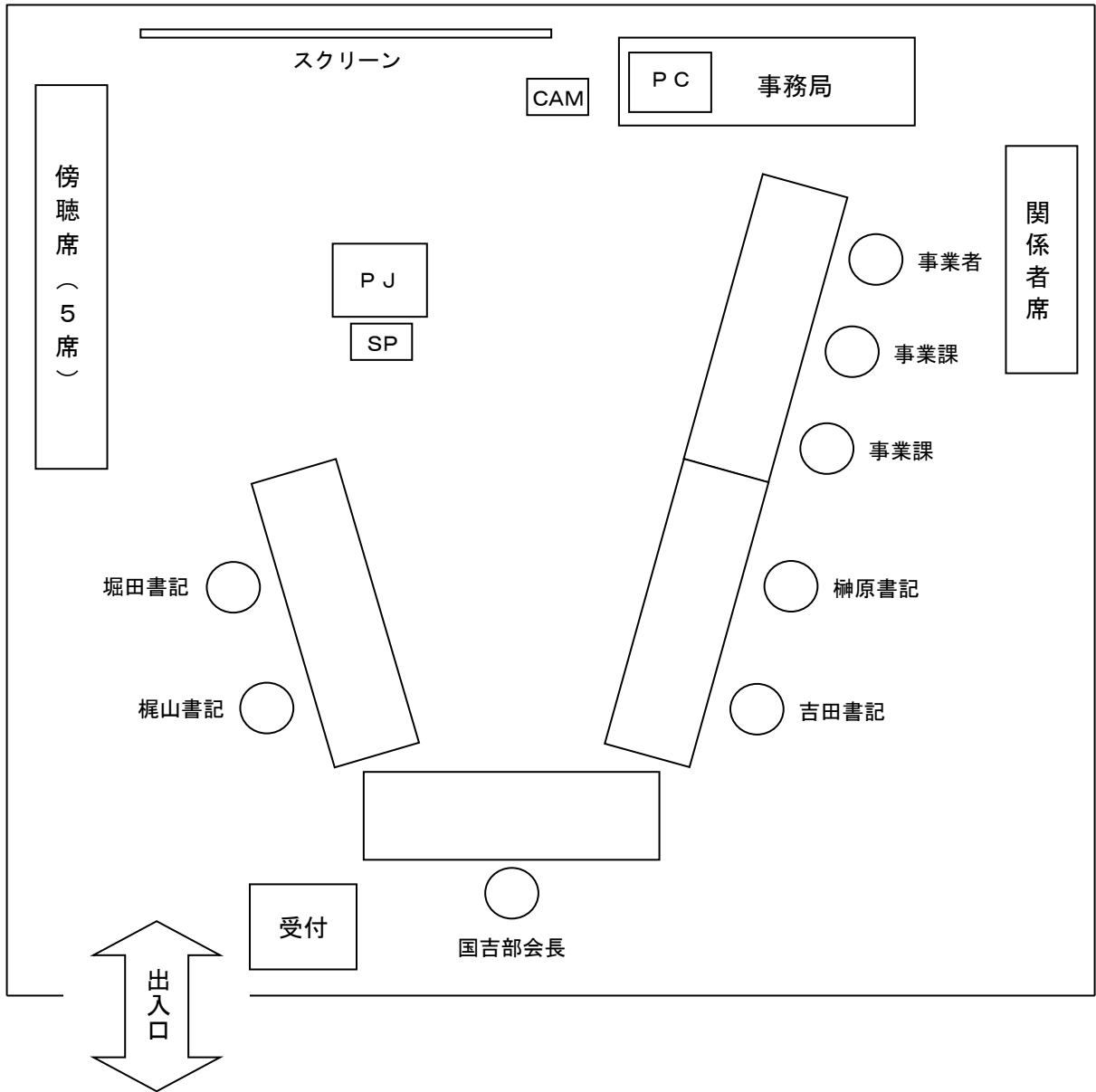
関係局	高井 雄也	都市整備局都心再生部都心再生課長
〃	島田 浩和	都市整備局都心再生部都心再生課担当係長

書記	堀田 和宏	都市整備局企画部長
〃	榊原 純	都市整備局地域まちづくり部長
〃	梶山 祐実	都市整備局企画部都市デザイン室長
〃	吉田 和重	都市整備局地域まちづくり部景観調整課長

【第 59 回横浜市都市美対策審議会景観審査部会座席表】

日時：令和 2 年 9 月 1 日（火）午後 1 時 30 分から午後 3 時まで

会場：横浜市役所 18 階 共用会議室さくら 15 ※WEB 会議形式



第58回横浜市都市美対策審議会景観審査部会会議録	
議 題	審議事項 議事1 横浜マリントワー工事期間中の空間演出について（審議） 議事2 藤が丘駅前地区(昭和大学藤が丘病院)の景観形成について（審議） 議事3 その他
日 時	令和2年6月29日（月）午後6時00分から午後7時39分まで
開催場所	横浜市役所18階共用会議室さくら14 ※WEB会議形式
出席委員	国吉直行、加茂紀和子、小林 徹、野原 卓、福岡孝則、矢澤夏子、山家京子
欠席委員	なし
出席した書記	榊原 純（都市整備局地域まちづくり部長） 梶山祐実（都市整備局企画部都市デザイン室長） 吉田和重（都市整備局地域まちづくり部景観調整課長）
関係者	【議事1】 関係局：永井由香（文化観光局観光M I C E 振興部観光振興課長） 關 佑也（文化観光局観光M I C E 振興部観光振興課担当係長） 事業者：株式会社博展 【議事2】 関係局：佐久間信嘉（都市整備局市街地整備部市街地整備推進課市街地整備推進担当課長） 石島靖浩（都市整備局市街地整備部市街地整備推進課担当係長） 事業者：学校法人昭和大学 東急株式会社 設計者：株式会社日本設計
開催形態	公開（傍聴者：1名）
決定事項	【議事1】 提案の内容について了承した。現地での投影実験や世間の状況等をふまえながら事業を進めること。 【議事2】 今回提案された計画内容について了承できない。本日出た意見を踏まえ、計画全体について改めて検討を行い、再度付議すること。
議 事	議事1 横浜マリントワー工事期間中の空間演出について（審議） 資料を用いて、事務局及び関係局から説明を行った。 （国吉部会長） 皆様の方からご意見をいただきたいと思います。質問などあればお願いします。 （野原委員） 私は前回欠席したというのもあって、わからないこともあるので教えてほしいのですが、8月以降の比較的安定している状況下での演出のときに、光の色をいくつか選ばれることになっていると思うのですが、このカラーパレットというのは、4ページの〈カラーパレット（案）〉のことを指しているのでしょうか。 （関係長） 左様でございます。 （野原委員） このカラーパレットはどうやって決まっているのでしょうか。前回もしかしたらそういう話があったかもしれないのですが、欠席してしまったので。 （関係長） カラーパレットの考え方ですが、資料には4つ記載しておりますが、①から③については類似の色相による調和を図るものとして選んだ色でございます。また、④については類似のトーン（明度、彩度）を揃えたものを選んでおりまして、こちらで色を選定しております。 （野原委員） 類似というのは、何が類似しているのですか。

(関係長)

①から③は類似の色相です。

(野原委員)

何が類似されるのですか。

(関係長)

色相です。

(野原委員)

それはわかりますが、要はパターン①の青の5色が類似しているという意味ですか。何が類似しているのですか。

(関係長)

①であれば、青系の色を揃えてご提示しています。

(野原委員)

①の左から右の5色が類似しているという意味の類似ですか。

(関係長)

資料4ページに記載の通り、参加者の方には、一つのパレットの中から色を4色選んでいただきます。その4色が塔体に投影されます。塔体に投影された時に、その4色が調和するように見えるようにするために、この類似の色合いの色を一つのパレット内に収めているということでございます。

(野原委員)

どれが類似しているか分からないですけれども。

(永井課長)

パターンごとに、パターン①は類似の色を集めている、パターン②は類似の色を集めている、ということなんです。

(野原委員)

パターン①の5色が類似しているという意味ですよね。それでも全体としては、少し原色に近いような色などが結構出ている、やはり周辺との関わりなどを見たときに、どういう色を出せるのか、というのは、本日現地に部会長が行かれるということなので、その辺を確認していただきながら決定していただくと良いと思ったというのが一点です。

あと少しわからなかったのですが、今回、【比較的安定している状況下での演出】ということと、本来実施しようとしていた演出の中で、もともと色々なパターンはたくさんあったのかもしれないですが、そこで色の考え方が違うのか。基本的には同じですよね。

(関係長)

基本的には同じです。ただ、コロナの状況が残っている中で、あまりいろいろな色を使ったエンターテインメント性の高い演出を行ってしまうと、炎上している事例もございますので、まずは少ない色から始めていこうという趣旨でございます。

(野原委員)

そうなる、この7色も、違う相から選ぶということよりも、もう少し落ち着いた形で行うという形もあるのかなと思ってしまったので、その辺の差があまりよくわからなかったのですが、説明としては伝わりました。

(国吉部会長)

7月はこのブルーで行うのですか。

(永井課長)

はい。

(国吉部会長)

それで、8月以降7色に変えていく。

(山家委員)

7月のブルーは固定ということで、わかる人はわかるということだと思っております。「医療従事者への感謝とエールを送る」という意味は、ホームページ等で説明するのですか。ブルーに点灯している意味みたいなものはどうやって伝えるのかということが一点です。

もう一点ありまして、本日の現地確認については国吉部会長にお任せしてしまって恐縮です。よろしくお願ひします。具体的に、全てのパターンを確認するのかなど、本日の確認内容についても教えていただけますでしょうか。

(関係長)

一点目につきましては、実は明日、記者発表をいたします。ホームページの中でも、ライトアップの内容についてはご説明をして参ります。

投影実験の内容については、2ページ目の右側にご説明しあげているとおり、今後使用する色と光の動きのパターンを全て投影し、検証いただきます。

(山家委員)

ありがとうございます。ということは、明日の記者発表から、皆さんにはメディアを通じてお伝えするということですね。

(関係長)

はい。

(国吉部会長)

「医療従事者に感謝とエールを送る」ということとこのブルーは、どんな関係があるのですか。

(関係長)

すでにいろいろなところで、ブルーライトアップ自体は取組をされています。横浜市内でも例えば県庁舎などいろいろなところで行っておりますので、マリントワーでも、まずはそのブルーライトアップから始めるということです。

(国吉部会長)

横浜だからブルーということではないのですね。

(関係長)

はい。

(福岡委員)

資料の4枚目について、右側の「参考」部分の、①青系、②青～黄系、③赤～紫系、④ランダムと書いてある色味と、4枚目の左下に書いてあるカラーパレット案は、どう関係しているのでしょうか。4枚目の左下にある4つのパレットと、4枚目の右上の参考の(3)カラーパレットのRGB値というのは、これは両方テストするというのではなくて、左側だけですか。

(関係長)

そうです。同じ光の色をRGB値で表記したものを示しています。

(福岡委員)

なるほど。多分、1回目の審議の際は野原委員がおられなくて、この光に関して議論があったのは、この右のパターン③とパターン④のような色が本当にふさわしいかといった話と、動的な、ランダムな動きをしたときに、すごく早い動きで光が移り変わるのは横浜の景観としてかなり慎重に考えなければならないのではないか、といったご意見があったと思うのですが、それを踏まえて前回から何が提案されているのかがよくわからなかったのですが。あと、コロナ期間中ではなく週末の演出を考えたときに、青味が増えているとか、前回のコメントを踏まえて何が変わったのかということは説明していただきたい。

(関係長)

まず前々回は、光の動きが早いのではないかといったご指摘と、色の範囲を示してほしいというご意見をいただいております。前回の2月の審議会のときに、動きのパターンを動画でお見せして、前々回のときよりもかなり速度を緩めた形で表示させていただいたところ、特にその点についてはご意見がありませんでした。色の範囲につきましても、こちらのカラーパレットの範囲をご提示したことで、前回の景観審査部会でも特に大きなご意見はございませんでした。

(国吉部会長)

そこに関してですが、本来予定していた演出については、どこかで確認することになっていましたよね。今回は、当面のブルーだけ確認するのですか。それとも、後半のものも全部確認するのですか。

(永井課長)

後半についてもご確認いただきます。

(国吉部会長)

これは責任が重いな。わかりました。

(福岡委員)

そうすると、前段のブルーは私は全然異論ないのですが、後段の、今後日常的に週末に行っていく色に関して、横浜としてのコンセプトもあまりないですし、何かこの色を使う意味とか、まあランダムに選ばれることが良いというのはあるのかもしれないですが。これを実際に投影してみて、パター

ン④やパターン③を見たときに、果たして本当に素敵だな、いいな、という雰囲気になるのかわからない。パターン③だと、どちらかというとアラートに近い色ですね。都庁で、コロナがひどくなって真っ赤になりましたが、そういう色味に見えなくもないので、実際に現場で検証していただいて大した影響はないというのであれば良いのですが。左の二つは問題ないような気はするのですが、パターン③とパターン④はどういうふうに見えてくるかなと心配ではありますが、皆さんのご意見もあると思いますので。

(永井課長)

今、係長の關の方から説明させていただいたのですが、かなりご意見いただいたのは、第1回目のときです。色の色味がかなり派手だとか、動きもかなり激しいというところで意見をいただいて、2月の第2回目のときに画面上で見ていただいたのですが、そのときには皆様にご了解いただいて、ただ現場で見るとまた少し見え方も違うだろうということで、現場確認するという事になった次第でございます。ただ今回、コロナの影響でブルーのライトアップを挟むとか、もう少し動きを柔らかくするというような形で、内容の変更について今ご説明をさせていただき、本日現場確認をしていただくというような流れになっていると理解しております。

(小林委員)

色については、参加型で今回企画することになっていまして、参加の内容は願いに関する回答というところだけになっているのかなと思っているのですが、参加すること自体は非常に良いと思っております。そういう形で市民を盛り上げるというのも良いと思っておりますけれども、色については市民の意見が全く出てこないということになるのでしょうか。

(關係長)

先ほどご説明させていただいた、2ページ目の左上のところ、8月以降の【比較的安定した状況下での演出】の中で7色示しておりますが、色の選定や週ごとに設定するお題については、例えば中華街発展会や山下公園通り会など地元の方々と、意見交換しながら色を設定していく予定でございます。

(加茂委員)

私は1回目のときにその映像を見させていただいて、そのときはまさかコロナなんていうものもなく、オリンピックなどで結構盛り上がっているという想定の中で話をしていた、要は人を間接的に集めるということがまず目的だったと思うのですが、スマホからインプットして、自分のものが反映されるとか、一日何人演出できるとか、そういう話があったと思うのですが、全く状況が変わって、多分大さん橋などに行く人たちも、みんな自粛というか、まだまだその状態は続かなきゃいけないと思っておりますし、人も少なくなっていくと思っております。そうすると、例えばマリントワーを象徴的に見せるようなネット配信などはお考えなのでしょうか。ここの存在感を、誰がどこから見るのかというのが疑問です。観覧車は割とよく見えるので、象徴的に、「コロナのときはすごく静かだったけど最近少し動き始めたな」とか、みなとみらいの観覧車を見ているとすごくそういうふうに思うのですが、それに対してこのマリントワーは、それをどう発信していくかということは結構重要なかなと思っております。そうでなかったら、人知れずそこにいるような感じで、逆にあまり人も集めてはいけないだろうから、そここのところの位置づけはどうするのかと思っております。

(關係長)

こちらは外出を促すためのものではなく、自宅からもご覧いただけるように、WEBカメラでも配信いたします。本日確認しましたが、山下ふ頭のところに今WEBカメラを設置しておりまして、ライトアップの様子は自宅からご確認いただけるようにしております。

(加茂委員)

ライブ配信で見られるということですね。

(關係長)

そうです。

(国吉部会長)

それを明日の記者発表で公開するのですか。

(永井課長)

はい。

(国吉部会長)

そこにはどこから入るのですか。

(關係長)

記者発表資料の中にも、マリントワーの特設 WEB サイトの URL を記載しておりますが、そこから入っていただければ、ライブ配信もご覧いただけますし、企画自体もご覧いただけます。

(矢澤委員)

本格的な演出でいろいろなパターンが出てくる前の、コロナの余韻が残った間の場合分けがいろいろされているのですが、2ページ目の、8月以降の【比較的安定している状況下での演出】について、この時期は、色はブルーではなくていろいろな色になってくると思うのですが、このお題というのは、1ページの(4)イの【第二派発生/外出自粛要請が再度出される状況下での演出】のパターンと同じということなのですか。横浜港周辺エリアで行ってみたいところなどの入力とか、それがお題になるのでしょうか。色々複雑でわからなかったのですが。

(関係長)

わかりにくくてすみません。ウの8月以降も両方とも、参加型でお題を設定して入力いただきます。

(矢澤委員)

ブルーではなくて、色が変わるだけという感じなのですか。

(関係長)

そうですね、色の選択肢が変わるだけです。

(矢澤委員)

わかりました。ありがとうございます。

(国吉部会長)

一通り委員の方からご意見いただきました。やはり、光ですので、実施しながら考えていくということも想定していると思います。もう少し現地確認にご参加いただけるとよかったです。私1人ということで残念ですが、現地で7月までのものと8月以降のものについて見させていただいて、感じたことがあれば皆さんを代表してお伝えして、工夫できるところは工夫してもらおうということで、とにかく実施してみるしかないかと思っていますが、いかがでしょうか。

(野原委員)

部会長よろしくお願ひします、ということにはなってしまうのですが、繰り返しになりますが、私も福岡委員と同じように前回欠席したこともあって、特にパターン③、④のカラーパレット案を見たときに、やはり調和や類似ということを感じる事があまりできなかったこともあるので、ぜひ現地でご確認いただいて、違和感がないかどうかということをチェックしていただけるといいのかなと思ひました。特に8月以降の【比較的安定している状況下での演出】というのが、まさにこの新型コロナウイルスの状況を配慮しながら実施しているということであれば、やはりそのあたりも含めて、どういう色を選ぶかということは、慎重にいただいた方がいいかと思ひますので、申し訳ないのですけれども部会長、現地でよろしくお願ひいたします。

(国吉部会長)

8月ということであると、7月いっぱいの中の世の中の状況とか、そのあたりを踏まえながら、あまりまだ騒がしくない方が良くとか、もう少し落ち着いた方が良くとか、行政サイドとしてそのあたりの判断もあるかと思ひます。その辺も見ながら、場合によってはまたご相談をいただきながら進めていただければと思ひますが、とりあえず、本日は概ねのトライは良いだろうということで、現地を見ながら、修正すべき点があれば修正し、場合によっては皆さんにもまたお諮りするかもしれませんが、そういうことで、本部会としては、進めることを了承するというのでいきたいと思ひます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

異議なければ、議事1はこれで終えたいと思ひます。ありがとうございます。

(吉田書記)

本日の投影実験につきましては、後日、委員の皆様方には、動画でお送りいたしますので、そちらも見てくださいと思ひます。また、説明者の説明の中でございましたけれども、年度内にはこちらの事業評価及びバージョンアップ案について、また再付議をさせていただきますので、その際にはどうぞよろしくお願ひいたします。

以上で議事1を終わります。

議事 2 藤が丘駅前地区(昭和大学藤が丘病院)景観形成について (審議)

資料を用いて、事務局、関係局及び設計者から説明を行った。

(国吉部会長)

質問です。これまで公園だったところに病院を作るのですよね。用地の関係は、どうなのですか。従来の公園の部分は、病院の東側の部分だけですか。そこは底地としては公園用地なのですか。その土地関係を教えてください。

(石島係長)

現在は街区公園という形で都市計画決定された公園ですが、都市計画の変更を行い、新たに都市計画に位置付けて、公園を整備していくという手続きを予定しています。公園の面積について、現状で約 4,300 m²程度ございますが、新たな公園も同じ面積以上にしていきたいと考えています。

(国吉部会長)

それから、病院の東側にいくつかにぎわい交流施設がございますけれども、これは公園内の施設なのですか。病院の施設なのですか。

(株式会社日本設計)

こちらは北側にロータリーのようなものがありますが、病院の施設になっています。その屋上や、通りに面するところに、にぎわい交流施設を配置しまして、その土地自身は病院の土地となりますので、公園を利用する方が病院の敷地の方に入って、こういった施設の利用をしていただくということになると考えております。

(国吉部会長)

わかりました。そうすると、線路側の三角形の部分が公園用地なのですか。

(株式会社日本設計)

線路側の三角形の部分は、病院の敷地内のオープンスペースとして整備します。右上(北東側)の部分が公園になっております。

(国吉部会長)

それは、従来の公園と面積は同じですか。

(株式会社日本設計)

等積です。

(国吉部会長)

わかりました。利用者の車はどこへ駐車するのですか。

(株式会社日本設計)

病院と公園の間の地下に駐車場を配置しまして、アクセスは北側と南側から分散して入れるという形を考えております。

(国吉部会長)

それでは、各委員からの質問、ご意見を賜りたいと思います。どなたからでもよろしいですので、お願いします。

(小林委員)

まず一つ目は、地形がまだよくわかっていないのですが、一番低いところは北東隅だと理解すれば良いのでしょうか。それから、駅の改札口ですが、新しい計画の中で駅の改札は2階になり、そこからデッキが繋がるというふうに理解したら良いのでしょうか。資料で見ると、そのデッキが、改札と高層マンションと病院の間とか、下の道路の上を跨ぐだけに見えるのですが、その辺りどうなっているのでしょうか。

(国吉部会長)

全体のレベル差のことと、デッキのことですね。

(石島係長)

資料の7ページ目右側の図面に、TP 表示で記載しておりますけれども、駅前の部分が約 TP+33m で、病院側に向かって、TP が+40m、+43mということで、線路側は非常に高低差が大きくなって丘陵地になってございます。また、線路側から北側の街区の方に向けて、TP が+29mということで、非常に高低差のある、谷戸状の地形になっているということでございます。

駅の改札についてですけれども、現在、駅の改札につきましては1階の地上レベルになってござい

ます。今回整備するデッキですけれども、9ページ目を見ていただくと、駅前の改札の前に、青い線でデッキレベルの位置をあらわしておりますが、こちらは既存の改札とは接続せずに、左手の商業・住宅棟と交通広場、病院・公園街区の方を結ぶデッキという形になります。

(国吉部会長)

そうすると、改札口はTP+33mのレベルですね。デッキのレベルはいくつですか。

(石島係長)

TP+40mからTP+42mくらいの高さになります。

(国吉部会長)

途中にエレベーターがついていますが、そこから左側がTP+40mからTP+42mということですか。

(株式会社日本設計)

この計画では、商業・住宅棟と病院の両側の設計と合わせて、右側の方がだいたいTP+40mからTP+42mくらいで、左側の方がTP+40mからTP+39mくらいまで下がる可能性があります。

(国吉部会長)

デッキ自体は水平ではなくてスロープになっているのですか。

(株式会社日本設計)

できれば水平にしたいと考えているのですけれども、設計の階高の調整で少し段差が出る可能性があります。

(国吉部会長)

小林委員の質問にはだいたい答えたいと思います。他の委員、いかがですか。

(野原委員)

質問とコメントと両方あり、最初に質問させていただきたいのですが、今の小林委員の話とも関連すると思いますが、藤が丘駅を降りた人は、病院のメイン動線というか、入口がどこにあって、メインの動線がどうなっているのかわからないので教えていただきたいです。あと、東側の街区の真ん中に道路があったような気がするのですが、それは廃道してどこかに付け替えるのか、そのあたりをまず教えていただきたいと思います。

(株式会社日本設計)

まずメイン動線ですけれども、既存の病院も北側の道路からのアクセスなのですが、新しい計画も北側の道路からのアクセスを考えております。改札を降り、右上の藤が丘駅前交差点の方に行き、道路を渡って、東側に進んだところがメインエントランスという形になっております。

(野原委員)

デッキの手前にある、エレベーターか階段かを上がって、道路を越えて南側からアクセスすることはできないのですか。

(株式会社日本設計)

そこも検討しているところではあるのですが、今のところ、メインは北側と考えております。

もう1点が、道路の廃道についてですが、現在確かに、街区の中央、病院と公園の間に道路がありまして、これについて横浜市と相談しているのは、道路を廃道して統合するところが一点。廃道した道路の付け替えについても、北側の歩道に付け替えてはどうかというところでお話を差し上げているところでございます。

(野原委員)

わかりました。それでは、それを踏まえてのコメントになります。まずやはり、せっかく今回、廃道して街区も一体型で、公園と一緒に作っていく計画になっていると思うのですが、今回その病院を継続しながら、玉突きというか、入れ替えて作らなければいけないので、やむを得ない面もあると思うのですが、せっかく新たに作られる公園と病院やにぎわい交流施設が、あまり一体で作られているような施設に見えないということがすごく残念だと思っております。病院やにぎわい交流施設、公園が、「一体」と書いてあるのですが実際一体になってない気がするので、せっかく施設と公園の間に道路がないわけですし、ぜひ公園とこの施設の関係をうまく解いていただけるといいのかなと思っています。

その上で、今動線の話をお伺いしたのですが、せっかくデッキをつくる計画になっているのに、そこがメイン動線ではなくて、小林委員からも指摘がありましたけれども、駅とも接続してないデッキというものが、どういう位置づけにあるのかわかりません。逆に過剰というか、グランドレベルの回遊性ということが謳われていて、そういうことを作っていくにはむしろ交通広場とか、その手

前にできるだろう人間的なオープンスペースとか、そういうところがどういうふう豊かに空間になるかとかですね、駅前降りたときに、病院、交通広場、公園、にぎわい交流施設が、豊かに、一体的に使われていくような、そういう施設計画になっていくということがとても重要ではないかと思えます。残念ながらその辺の意図があまり読み取れなかったのも、もしその辺で考えていることがあったら補足していただきたいと思いました。特に公園が、結果的に一番端に追いやられているような形になっていて、ここが非常にもったいないですし、駅を降りてもその辺りが全く見えない状態にもなっているということで、グランドレベルの低層部の作り方とかも含めて、もう少しご検討されていかないと、すごくもったいない計画になっているのではないかと思えます。

(国吉部会長)

ありがとうございました。他の委員、いかがでしょうか。

(加茂委員)

私は先ほどボリュームを見させていただいたときに、やはりかなりの高さのボリュームが、公園と駅前広場を分断している。それから動線計画も、駅から降りたら見えないところにその骨があるということが、結局駅前広場に面する方は裏という感じになっているのではないかという気がします。そのところは多分皆さんと意見が一緒で、本当ににぎわいを創出するような計画になっているのかというところが疑問だなと思いました。2階のデッキも、商業施設と病院をつなげる目的がどういうことなのかかわからないのですけれども、改札口が一階の地上レベルだとすると、目の前に歩道橋のようなものがあるというすごく邪魔な状態になって、そこにはいちいち階段を上っていかないとけないという、せっかく駅前病院という立地条件であるなら、本当は面白い提案がいろいろできるというか、要するに開かれた計画にもできる可能性が十分にあると思いました。それで、藤が丘病院って、リハビリ病院で、特に救急医療とかそういう病院ではないですよね。なので、せっかく審議会にかけるといふことであれば、その辺の可能性ももう少し考えられるといいのではないかと思えます。

(国吉部会長)

ありがとうございました。救急病院とかリハビリ病院とかその辺のお話は、何かありますか。

(学校法人昭和大学)

藤が丘病院はリハビリ病院ではなく、急性期の病院になってございます。藤が丘病院とは別に、藤が丘リハビリテーション病院というのがまた別にございますので、藤が丘病院は三次救急も扱っている病院となっております。以上でございます。

(加茂委員)

ということは、救急車で搬送されてくるようなことも考えられる病院だということですよ。

(学校法人昭和大学)

左様でございます。

(加茂委員)

その辺の動線計画はどうなっているのかがすごく気になるところです。

(国吉部会長)

真ん中のにぎわい交流施設の駐車場のところに入ってくるのですか。

(株式会社日本設計)

一般車の動線計画は北と南に設けるのですが、救急車の動線は、南の方に別にとり取ってしまっていて、病院の南西の角辺りの、2階レベルに入口を作りまして、人工地盤の下に入っていくような形での動線を考えております。

(国吉部会長)

はい、わかりました。一通り全委員からご意見を伺いたいと思えます。

(福岡委員)

やはり資料を見て一番気になったのは、公園の場所が移動するのはやむを得ないとしても、「一体」と言うのであれば、病院の南側のボリュームが結構せり出していて、ちょうど病院とペデストリアンデッキの交点のところすごく狭くなっていますよね。この、病院南側の低層部分のボリュームの作り方が、今はパツパツに立っていて、全然クリエイティブではないと思ったのです。だから、病院の建て方として、やはりどういうふうにしてこの周辺の公園や斜面を取り扱うかですよ。ここは、病院に向かって斜面が下りてきていて、例えば病院のロビーなどでガラスの開口部があれば緑がとび込んでくると思うのですが、現時点ではまず病院のボリュームがありきで、その周りにある残り物の緑をコテッと貼り付けて、無理くり空中歩道で繋げているということが、すごく気持ち悪い提案だなと思いました。歩行者動線の設定も行った来たりしていて不思議な動線だったので、ま

ずこの街区のととても細長い形を一番大きく見せるために、例えば、この街区の外周をにぎわい軸に沿ってマンションの裏も含めて全部一周回ったら3kmありますとか、それを回れるようにするためには、地形をこういうふうに繋げなきゃいけないとか、そうすると北側・南側の斜面では駅の改札と交通広場に向かって緑がどんどん続いて行って、全部歩いて回ると2kmくらい歩けるとか。斜面地は病院の敷地なのかもしれませんが、公園と交通広場と斜面地を物理的に繋げていくときに、まず解かなければならない大きい課題として、全体の敷地をどういうふうに取り扱うかというところが少し弱いかなと思いました。今の公園も街区公園で、木も立っていて、公園の周りは斜面が結構きつくて擁壁が出ていたりするので、今回の平面図ではなかなか立体的に考えるのが難しかったのですが、かなりうまく解かないと、やはり今は病院がズドンと建っていて、公園から病院の特に駅側の部分の作り方にもう少し工夫をしないとイケないのかなと思いました。住宅地側に顔を向けるということはもちろんわからないでもないのですが、この南側のボリュームを切って、その部分にもう少し立体的な緑地を繋げていくということが、この斜面地と公園の一体的な作り方の一つのやり方かなと思いました。あと、交通広場はこんな作り方をする必要はあるのかなと思いました。ロータリーを入れるのかどうかかわからないですが、かなりハードな、舗装だけで構成されている印象ですので、交通広場も含めて新しい広場の形をうまく提案してあげた方がいいのではないかなと思いました。今は、与条件を解ききれないまま、なんとなく無理くり繋ぎあわせて、一つ一つの場所は成立しているのかもしれないですが、大きい全体像が見えません。日本設計はランドスケープの専門家もいますが、建築の趣向ではなくて、もう少しオープンスペースからこの敷地を組み立てたときにどうなるのかということ、もう少し真剣にやらないと、だったら別に「公園と一体」と言う必要はなくて、「病院の建て替えですよ」と言った方がいいのではないかなと思ったのですが、肝煎りでやるのであればそういう気持ちでやってほしいですし、通常の建て替えで適当に公園を横に作るのであればそれでもいいですけど、そういうふうにするのであれば、もう少ししっかり全体像を見据えてやらなければならないのではないかなと思います。以上です。

(国吉部会長)

ありがとうございます。矢澤委員、いかがですか。

(矢澤委員)

専門的なことはちょっとわからないのですが、そもそも再整備の目標で「藤が丘らしい」という言葉が出てきて、抽象的でなんとなくわからないのですけれども、「藤が丘らしい」というのは具体的に言うときどうということなのか教えていただきたいです。

(石島係長)

これまで、まちづくりを進めていく上で、地域の方も入っていただいて、過去にワークショップを何度も開催しております。その中で地域の方から出ている意見としまして、現状では駅前にあまり高い建物がない状況で、駅に近いところに公園があり、割と緑が多くて、駅を降りるとほっとして落ち着ける、というようなことを皆様感じてらっしゃるということで、ほっとできるような空間を提供してほしいというようなご意見をいただいております。

(矢澤委員)

「ほっとできる」ということが「藤が丘らしい」ということなんですかね。それとも駅前に色々、病院があつて凝縮していて、あと少しレトロな感じがするところが「ほっとする」のか、そこら辺がちょっと抽象的だなと思ったのですが、「ほっとする」というところが「藤が丘らしい」ということでよろしいですかね。

(石島係長)

あとは、やはりこれまで病院を核として街が形成されてきたということがございますので、皆さんもやはり引き続きこの病院は存続してほしいという思いがあるのかなと思います。いま、病院を核として木々の緑が非常にあって、駅前に大きな木なども残っておりますので、引き続きそういったみどり豊かな景観を残していくということが、基本はあるのかなと考えております。

(矢澤委員)

わかりました、ありがとうございます。

(国吉部会長)

山家委員はお話しされましたか。

(山家委員)

まず、この病院の建て替えに関しては、なんて厳しい条件なんだというか、現在の病院を稼働させながら建て替えていく、ということを見ると、しかもそれが急性期の病院だということで、かなりハ

ードな動線計画などをとることも考えると、大変そうだなと思いながら見ていました。ここからは各委員の皆さんがおっしゃったこととかなり重なるのですが、先ほど福岡委員がおっしゃっていたように、いかに、南側から公園まで、にぎわい交流から公園までに至る緑地をうまく使っていくのかということが、この図面を見る限り非常に大事なのかなと思うのです。ただ一方、この南側の道路から断面的な処理があるとはいうものの、救急車の動線があったりするということを考えると、本当にこのオープンスペースがうまく生きてくるのか、非常に難しそうだなと思いながら見ていました。ただ実際、もちろん公園をプロムナードから続けるということもあるとは思いますが、やはりこの図面を見る限りだと、南をうまく連携させていくと良いなと思いました。

もう一つ、やはり現況が、交通広場があって、低層のショッピングセンターがあって、病院も離れていて、駅前がかなりのどかで良い場所になっているということがあって、それが寄ってくることによって、今の良さが残念ながら失われてしまうことも現状仕方ないと思っています。ただそれをできるだけ良い形で、再整備というか、再生させていくといいなと思います。だから、交通広場は「広場」という名前はついていますが、普通に考えるとやはりロータリーで、ターミナルで、という形になってしまうのかなと考えたときに、今の駅前の非常にのどかなオープンスペースをなんとか少し留められるような緑地の整備などを考えられるといいなと思います。以上です。

(国吉部会長)

どうもありがとうございました。

私の意見は、委員の皆さんとほとんど同じです。やはり、「のどかな」と言われていたように、交通広場にしても傍に公園があって、割とゆったりとした空間だったところに、ドンと大きな病院が移設してくることになる。そうすると、駅前は交通広場と高層の病院と商業施設ということで、全く違った街になってしまうのかなということですね。ですからその時に、ランドスケープも駆使して、どれだけ柔らかな感じを出せるかということが課題ではないかと思います。そうした場合に、病院と道路との間の斜面を崖地みたいな感じで緑化しておりますが、その程度しか取れないのか、もう少し取れないのかという感じがしますね。そして、その病院へのアプローチが、北側をずっと回ってまた戻ってきて、というものがメインの動線だと。それはちょっと、「裏」と委員がおっしゃいましたけれども、駅前は裏の空間で、メインは新しい公園に面した側、という感じになってしまっていて、できてみると地域の方は失望するのではないかという感じはしますね。

あとはやはり、デッキについてです。このデッキは、鉄道と結んでいないし、誰が使うのだろうかという感じがありますね。これは道路局の施設になるのですか。誰の施設で、誰が管理するのか、それを含めてご説明いただきたいのですが。

(石島係長)

先ほどから、他の委員からも、デッキの必要性に疑問があるというご意見をたくさんいただきました。まず、デッキとしましては、まず今回、病院側と駅前広場側でかなり高低差があるということで、高齢化も進行している中で、駅前広場の方から、バリアフリーにも配慮した歩行用デッキで地区内を繋げて、安全で快適な空間を確保していこうということが、狙いとしては一点挙げられます。もう一点が、今回駅前と病院と公園を繋ぐ歩行者デッキを新たに接続することで、先ほどから南側のオープンスペースのにぎわいということにもご意見いただきましたが、そこに新たな歩行者ネットワークを通すことで、回遊性があるような歩行者のネットワークを形成して、にぎわいに寄与するようにするためのデッキ、という位置づけも考えております。あと、商業・住宅棟の東側に通路がございますが、こちらの便利施設等を利用された方も、このデッキを通して、病院の南側のオープンスペースを利用しやすいだとか、あとは公園が今駅に近かったものですから、それが今度は東側の方に動くということで、またこれも歩行者が公園に行きやすいような歩行者動線を作って、にぎわいを創っていきたいという意味合いで、歩行者デッキを計画したという次第でございます。

(国吉部会長)

これは誰のものですか。

(石島係長)

この施設の財産ですが、これは道路施設にはならず、今は病院あるいは商業・住宅棟の持ち物なのか、というところで、民間の持ち物のデッキということを計画しております。

(国吉部会長)

所有者が道路局ではないということですが、民間がこれを持ち続けことはできるのでしょうか。先々、持っている民間側にとっては非常に負担になるのではないかという感じもします。また、防犯の問題とか、民間がずっとガードマンを置いておくのかとか、それから、民間側の施設ですと、警察

ほどの程度立ち入れるのかとか、そういうことも含めて非常に危ないなという感じがします。このデッキを作る割には、そのデッキで作った動線を病院側に持っていわずに、病院へは平面を使って北側から回っていき、駅前広場と病院と公園を繋ぐメインの動線とは考えてないという説明をしていました。やるのであれば徹底して、病院の南側にある斜面のところうまくアプローチを持ってくるなり、ランドスケープを考慮してそこうまく繋がるようなデッキが一部でくるなりすることはいいかと思いますが、何も商業・住宅棟まで繋げていくことはないのではないかと感じます。

また、交通広場自体は今回の計画の対象に入っているのか、既存の交通広場をそのまま利用するのか、もし計画として整備するのであれば、それも含めて非常に大胆なランドスケープにしていくぐらいのことで進めないと、この計画は破綻するのではないかと感じます。建物自体の計画がどれくらいまで煮詰まってくるかわかりませんが、本当はその辺も踏まえて、もう少し大幅に構成を考えた方がいいのではないかと感じますが、少なくとも全体的に、歩行者にとって気持ちいい空間作りにはなっていないという感じがしますので、その辺は大幅な工夫が必要ですね。

それからデッキについては、本当に必要かどうか、見直した方がいいのではないかと感じます。

そんな感じで、皆さんの意見を総括して、私が感じたことを申し上げました。

(野原委員)

あと二つ質問があるのですが、一つは、交通広場に入ってくるバスの本数や系統がどのぐらいあるのかということをお願いのと、もう一つは、新しくできる街区公園のレベルが、フラットかどうかともわからないのですが、TPがいくつなのか、その二つを教えてください。

(株式会社日本設計)

交通広場はバスが2路線入ってしまっていて、北方面と南方面の路線があります。その割合は、北が1で南が3ぐらいの割合です。全体では時間最大で11便あるという形でございます。

街区公園のレベルですが、北西側の道路レベルがTP+29mとなっていて、公園の高さはだいたいフラットで、そのままTP+29mのレベルで計画するというのを考えています。

(野原委員)

それでは、デッキを上げて上にのぼって行っても、公園に行くには、階段なりエレベーターなりでもう一回下がるということですか。

(株式会社日本設計)

はい。そうです。

(野原委員)

やはりメインレベルをどこにするかというコンセプトみたいなものが無いと、上にするなら上にする計画だし、下にするなら下にするで、そここのところの骨格をしっかりした方がよりよい計画になるのかなと思いますし、にぎわいとか回遊とかというのであれば、やはり下のレベルをしっかり作って交通広場もときには多様な使い方ができるような、そういうあり方を考えると、やはりグランドレベルのあり方計画みたいなものを、建物も公園も広場も全部取っ払って一体的に、下のレベルをどう作っていくかということが考えられると、もう少しいいものができてくるのではないかなという気がしましたので、そのあたりの、低層部といいますか、地面のレベルとその1個か2個上くらいまでのあり方を検討されるといいかなと思いました。

(国吉部会長)

全体の計画の位置づけは、地区計画で進めるのですか。

(石島係長)

はい。地区計画を活用しながら検討していきます。

(国吉部会長)

交通広場も地区計画に入っているのですか。

(石島係長)

交通広場と、デッキについても、地区施設に位置付けていくことを計画しています。

(国吉部会長)

この交通広場の再整備の事業者は、誰になるのですか。

(石島係長)

底地自体は東急株式会社がお持ちになっておりますので、再整備の方も東急の事業で整備をしていくという考えです。

(国吉部会長)

そうすると、東急側からは、ここのデザインなどの素案はもう示されているのですか。それともこれからなのですか。

(株式会社日本設計)

交通管理者と今後協議していく予定になっていまして、現在はバスの出入りが右に2か所、北が1か所で計3口開いているのですが、歩行者動線の再編もあわせて、その出入口の集約も含めて、今後調整していきたいと考えております。

(山家委員)

先ほど話題になったかもしれないのですが、この公園は、横浜市ですか。

(株式会社日本設計)

はい。東側に整備する街区公園は横浜市が持つ公園という形になります。

(山家委員)

わかりました。以前は駅前の交通広場なりロータリーに面していて、空間が抜けていて、あるだけでOKというような感じがあったかと思うのですが、この場所だと、どのような公園にしたいのかということ結構しっかり考えていかないといけないなと思っていて、もちろん住民の方とのワークショップで【みどり、公園】という項目の中には出ていますが、公園の設え、使い方等、今後どのように進めるか、何かもしお考えがあったら教えてください。

(株式会社日本設計)

現在、藤が丘駅の西側の方で線路を渡ったところに、藤が丘公園というかなりみどり豊かで坂のある公園があるのですが、そこでもかなりいろいろな方がアクティビティを楽しまれていて、釣りをしたり、池があったり、ペットの散歩をしたりという状況もあるのですが、やはり駅前公園の方は結構平場がある公園で、やはり地域のワークショップでも、その公園とは違う使い方をされていて、平場がほしいという意見も結構出ておまして、そういうところから、ここの公園の使い方などに違いをつけていくということは、一つ考え方としてはあるのではないかと考えております。あと、横浜市が管理する北側の公園と、病院の敷地の中の南側にかなり日当たりの良い場所にオープンスペースが作られますので、ここは少し段差があるのですが、使い方の違いが作れるのではないかと考えておりますので、その点については工夫しながら、その段差を生かしたような使い方の違いなどと、そこを繋ぐ斜面をどう作るかというところを、うまく作っていききたいと考えております。

(山家委員)

市民の方の声を取り入れるようなプロセスはお考えですか。

(石島係長)

公園の方については、今回具体的に、市民の方から御要望いただいて整備ということは正直あまり検討していなかったところではありますが、実際にこの公園を管理している公園の関連部署と今協議をしておまして、その中で市民意見の募集なども行っておりますので、そこで具体的にいただいた要望を踏まえて、公園管理者側とまた相談させていただきながら、検討を進めていきたいと考えております。

(山家委員)

一体でありながら、少し皆さんにとって自分ごとのように感じるプロセスが増えるといいなと思いました。以上です。

(国吉部会長)

どうもありがとうございます。

景観審査部会としてどう評価するかということなのですが、やはりこのデッキの存在が将来課題になるかなと考えておまして、これをこのままの形で受け入れていいのかどうかということが課題だなという感じがしますが、委員の方々がいかでしようかね。私はここは、歩行者の動線と南側の緑地の部分の作り方を含めて、考え直した方が良いという思いです。福岡委員からいろいろなアイデアが出されましたけれども、歩行者の動線をきちんと作るのであれば、それをもう少し積極的に取り入れた中で、デッキが一部交通広場の方に出てくることはあるかもしれないですけども、全く無関係のものがボンと直線で交通広場の上を走っていても、これはあまり気持ちのいいものではないと思います。このままで、郊外部の駅前の施設ないし公共空間としていいのかどうかちょっと疑問です。道路局が受け取るわけでもないし、民間側は維持することも結構大変で、将来病院にとっても「なぜ我々が持たなければいけないんだ」となるのではないかなということを感じております。誰も喜ばない施設ですと、結局維持管理が出来なくなってしまうのではないかと感じていて、これが必要な理由をきちんと整理しないとだめですし、ランドスケープを含めた工夫が必要ではないかなと思いま

す。

(福岡委員)

公園の整備は横浜市が単独で公の方で行うというスキームで作られているのかなと思ったのですが、街区全体で東急と病院とそれから横浜市が持っている公有地があるのであれば、公園の整備費用を負担していただくのは難しいかもしれませんが、例えば公園と病院の境界にある公共的施設を民設民営で作っていただいたり、にぎわい施設はそういう位置づけなのかもしれませんが、もしこの街区で公園を推進するのであれば、横浜市の方でもう少し強烈的なイニシアティブを握って、いろんなアイデアを出せるのではないかなと思ったのです。東急もそうですが、何かそういうコミットをまだ引き出せていない気がして、病院が少し捻出できる用地だとか、東急の前のちょっとした広場とか、それぞれの継ぎ接ぎではなくて、全体を融合させるためには、横浜市の方ももう少し前のめりで調整しないと、公園の部分だけなら普通のちょっと安めの街区公園ができるだけかなというふうには見えなかったもので、野原委員もおっしゃいましたが、端に寄せる以上はそこが目的地になるような、少し特別な公園にするとすると、クオリティもありますので、民間の活力を活かすということが考えられると思います。あとは、コロナの後の都市づくりに関して、今いろいろな自治体で議論されていますが、道路法も一部緩和されましたので、何か新しい道路の作り方とか公園の作り方ということに関してもモデルにしていくとか、もう少し新しいものを試さない。難しいとは思いますが、その辺りは横浜市としてもどういう姿勢で挑むかということも結構大事で、岩盤を崩していかないとうまくいかないのかなというコメントです。

(国吉部会長)

質問ですが、この公園については、横浜市の公園になると思いますが、整備はこの病院の事業で行うのではないですか。

(石島係長)

そうです。

(国吉部会長)

そうですね。病院の事業で整備して、横浜市は受け取るだけです。

(福岡委員)

維持管理は横浜市がやるのですか。

(石島係長)

維持管理は横浜市が行っていきます。

(国吉部会長)

福岡委員が言うように、横浜市は受け取るだけだから、極端に言うと普通の公園でも受け取る、みたいなことです。だから、横浜市というよりも、東急を含めて病院を設計するチームが全体を考えていって、それを地域のためにどういうふうにいわれる魅力あるものにしていくかということです。住民の方と議論をすればいいというだけではないと思うのですが、質を上げる工夫はやはり設計チームが担って行って、やりようによってはいろいろな良い提案ができると思います。

あと、やはり駅側の表情は、法面の緑地が少しあるみたいな感じで、あとは交通広場しかないみたいな感じですね。緑が多いのは大変良いことなのですが、病院にとっては地下になるかもしれませんが、緑が全部繋がるのではなくて、にぎわいの顔が一部出てくるとか、そういうことも含めて工夫をすることが必要だと思いました。

意見がたくさん出ていて、一つ一つをどうということではないのですが、デッキを含めて、駅前の空間作りが魅力に欠けるという感じが共通してあると思いますね。あと、野原委員がおっしゃったような、どこのレベルをメインのレベルにしていくかということを含めて、お考えいただいた方がいいと思います。藤が丘の駅舎自体は全然変わらないということであれば、やはり新たな魅力ができてくるようには見えないですね。かえって、邪魔なデッキが空中を走っている、みたいになりかねないという感じがありまして、これをこのまま了解というのは、都市美審としては課題ではないかなと私は感じます。少し検討し直していただいた方が良くと思いますが、いかがでしょうか、委員の皆様。

(小林委員)

ちょっと申し上げておきたいのですが、本件は、元々病院を建て替える、それで今現地にあるところは残したまま、新しいところに病院を建てて、それから、取り壊した病院のところを公園にしてしまう、という部分がメインにあって、それに他をくっつけたようにしか見えないのです。病院の方の表はもう北側を向いていて、駅の方とは関係ない方向になってしまっているし、ここに回遊性とかで無理やりペデデッキという形になって、でもペデデッキは特別改札とくっついてもないし、という

ことで、全体の計画がバラバラだと思うのです。どういう統一性を持っていくかということをもう 1 回検討していただいた方が良いのではないかという気がしております。

(国吉部会長)

ありがとうございます。

計画の一番重要などころが見えず、景観審査部会としては、全て OK とは言えないですね。病院の利便性、機能性は確保できているかもしれませんが、その他についてはあまり積極的に考えられてない。無理矢理施設をくっつけて、それを利便施設だと謳っているようですが、計画として公共空間の魅力アップには繋がってない感じがしますので、全体について、できる範囲で再構成をしていただきたいと思います。

そんなことで、できる範囲で工夫をして、再度提案してもらおうということで進めていただきたいと思いますがいかがでしょうか。委員の皆様いかがですか。よろしいでしょうか。

(異議なし)

(石島係長)

訂正が一つございまして、先ほど私の方から交通広場の整備自体は東急が整備を行うと申しましたが、正確に言うと、東急とショッピングセンターと昭和大学と、この 3 社の民間の事業者で、交通広場の方を整備するということですので、そこだけ 1 点。

(国吉部会長)

工事費は 3 者がもつと。わかりました。いずれにしても、その 3 者での研究会みたいなものが非常に重要になってくるわけですね。ですから、そこに対しても、本日の議論の結果、各委員からの意見を踏まえて、東急とか商業施設の方々も、お金を使って整備されるのですが、我々としても、あまり効果のない広場になるのではないかと危惧しておりまして、その辺をお伝えいただいて、それを踏まえて、病院の周りの空間作りについてもあわせて一緒にご検討いただきたいと思います。

課題も多く残った結論になりましたけれども、そういう形で部会の意見としたいと思います。以上で、再度ご提案いただくということにさせていただきたいと思います。それでは事務局に返したいと思います。

(吉田書記)

ありがとうございました。それでは、今回の件は、全体の計画について、いま一度付議いただくということになりましたので、事業者はご検討の方よろしく願いいたします。付議の時期については、事業者と事務局でまた調整させていただきたいと思っております。

(国吉部会長)

ありがとうございます。そうすると次回は、事務局の方でもう一回調整させていただくということですね。

(吉田書記)

はい。事務局の方で事業者と調整をした上で、委員の皆様方には日程調整をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

(国吉部会長)

わかりました。それでは、これで議事 2 を終了します。

議事 3 その他

なし

閉会

(吉田書記)

本日の議事録については、横浜市都市美対策審議会運営要領に「審議会があらかじめ指名した者の確認を得ることとすることができる」とありますので、作成後部会長に確認を頂いたうえで、公開いたしますのでどうぞよろしく願いいたします。

(国吉部会長)

なお、本日はこの後現場検証がありますので、私が行って、また皆さんにも報告できるようにさせ

	<p>ていただきたいと思います。</p> <p>(吉田書記)</p> <p>ありがとうございました。それではこれもちまして、第 58 回都市美対策審議会景観審査部会を終了いたします。どうもありがとうございました。</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、参加者名簿、座席表、第57回議事録 【議事 1】 ・ 資料 1：横浜マリントワー工事期間中の空間演出について 【議事 2】 ・ 資料 2－1：藤が丘駅前地区再整備の考え方について ・ 資料 2－2：藤が丘駅前地区における景観形成について（昭和大学藤が丘病院）
特記事項	<p>次回日程は後日調整。</p>